

協会ニュース



失敗をしてもやり直す権利

10/27の衆議院選挙では「裏金問題」等の影響により自民党は歴史的な大敗を喫した。立候補者たちは「禊」として有権者たちに「やり直し」のチャンスを請うたが、有権者は厳しかった。袴田事件では司法が過ちを認め謝罪したが、60年もの彼の人生は戻ってこない。

人間は誰もが失敗をする。過ちを犯す。場合によっては取り返しのつかないこともある。しかし、失敗をした人の人生がそこで終了というわけでは無い。例えば、法に基づいて罰を受け、または反省し支援を受け、同じ失敗を繰り返さないように誓うことでやり直しをする（もちろん、程度や例外はあるが）。

人生における「やり直し」というのは、よく「リセット」に例えられるが似て非なるもので、してしまった失敗や過ち、起きたことをなかったことにしてもらうことではない。その失敗や過ちの重みを受け止めて生きていかねばならない。

「やり直し」したいのは、誰かに迷惑をかけたり法に触れたりした失敗ばかりではない。自分の思うような在り方ではない「今」をやり直したいときもある。我々支援者は「やり直し」に近い「リカバリー」の考え方に基づき、「障害のなかった自分に戻る」ことではなく、「障害を持った新しい自分の生き方を見つけること」等の支援をする。

「二度とこういうことはいたしません。」「こんな自分になりたいです。」と言われた場合に「それがやり直しなの？」「それで大丈夫なの？」「また同じことの繰り返しになるのでは？」「それではダメではないか?」と思うことがある。しかし、それは誰が決めることなのだろうか…

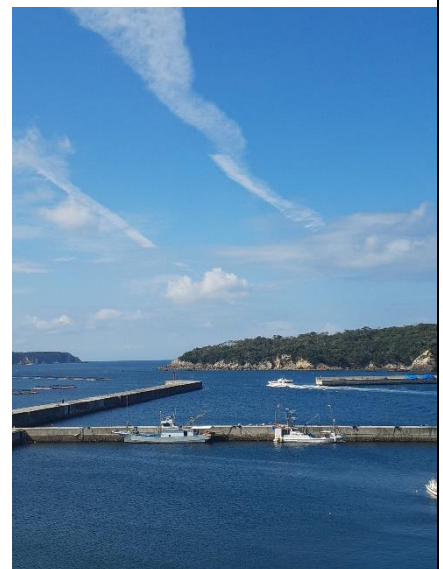
一定数の有権者は「禊」を認め、冤罪を受けた方も今日を生きていく。

誰にどうやって許しを請い、誰に誓うのか、誰が許し、認めるのか…

また、誰がそれを強いるのか…

我々の支援は「答えのない中での支援」だと思う。しかし、「答え」ではなくても、「選択」「決心」はせねばならない。そして、その「選択」を「やり直す」ことも含めて「し続けていく」支援だと思う。

事務局





お知らせと近況



○地域活動支援センター ジョイの移転について

予てよりジョイの機能の集約や効率化、利便性等を考慮して移転作業を進めてきましたが、この度ようやく中央通りよりの移転作業が終了し10月末日でジョイ1・2は閉所いたしました。移転先は、山鹿町グループホームこだち兼ジョイ3となり、ジョイ1・2・3が一体的な運営【ジョイ】を行うこととなりました。引っ越しに際しての屋内の部分改修や備品等の整備を行いながら、利用する方々への配慮も検討してきました。利用者人数は、日時によって異なりますが、スペースを確保しながらも一人になりたい等の要望も考えました。スタッフも常時全員が揃うことになり、一日を通したトータル的な支援が可能となります。利用者さんが安心・安全に過ごせるような居場所を提供し、賑やかに楽しく活動ができるようにしていきたいと思っております。

今後ともよろしくお祈いします。



○就労支援事業所 フードラボ 菜果

A型よりB型に移行して、4か月が経過しました。利用者の方の動向もありましたが、主力の菜果弁当を中心にスタッフ一同・利用者の方々、それぞれ目の前の課題や昨今の諸経費等の値上げや物価高騰、ちまたの賃上げの声…等々、視野に入れながら日々の活動に取り組んでいます。

お弁当の作業に関わる作業の一環として、自家菜園や農家さんとの連携、軽作業の検討なども行っています。一人一人それぞれの課題や能力、気持ち等は違っているため、それぞれに対応できるような仕事内容を日々検討、提供できるようにしています。ゆくゆくは、それぞれの利用者さん一人一人が自分のペースでステップアップでき、自分なりの自立につながればいいと思ひ支援しています。



ジョイ活動より

10月14日

おにぎり亭 JOYにて

今日もラッキー!!

おにぎりパーティー?

おむすびパーティー?

2か月続けての参加!

美味しい!! 美味しい!?



10月18日 ジョイ 神明通りツアー

とあるパーラー
♪～♪ にて
お楽しみランチタイム



ひとこま

若いころから多くの失敗と苦労を重ねてきた K さんが5年ほど前に我々と出会い、その後も何度も失敗をし、何度目かのやり直しの機会を経て、ようやく安定した生活を手に入れた。安定とは言うが、特に経済的には満足できる生活ではなく、毎月のように利用料の滞納等を繰り返していた。

我々は「これ以上失敗を繰り返さなければそれでいい」と思い、決して彼を無理やりサービスに繋げようとは思わなかった。それでも「彼にとっての自己実現は？ QOLとは？」…という不満足さを感じざるを得ないまま、数年が過ぎた。

どうしても限られたお金での生活に限界を感じていた彼は、今年になって相談支援の勧めにより、ジョイを利用することで「時間の有効活用」と「お金を節約できる場」を手に入れることになった。



7月に菜果がB型になり、思い切って彼に声をかけた。

「節約よりも収入の方がいいんじゃない?!」

試験利用をしてみると、作業内容の好き嫌いはあるが、極めて高い作業能力を発揮した。さらには工賃の低さにも不満はなく、むしろ、いくらであっても自分の自由にできるお金が得られることは嬉しいという。そして、そのお金で、趣味のアクセサリや嗜好品を買いたいという。

ジョイにつながったのは相談支援の熱心な勧めがあったのだろうが、今まではその気はなかったと思うのにどういう気持ちの変化なのか…？ 我々が最初からあきらめていたせいなのか…いや、タイミングだろうか…

いずれにしてもようやく彼は、【自己実現、QOLの向上に向けて】一步を踏み出した。

編集後記

暑くても寒くても、過ぎれば何らかの弊害が出てしまうものですね…我々は常にはないものねだりをし、もっともっと自分たちに都合の良い状態を望んでいくのですね…。

しかし、自然や他者と共存していくためには自分たちも何かを譲っていかねばなりません。もしかしたら自分たちにとっては不都合な選択をすることになってしまうかもしれません…。それでも、目先にとらわれず、長い目で見れば、または広い目で見ればそれが良い選択になることもあるのではないのでしょうか！

そんな余裕を持った生活を誰もができるようになれば良いと思います。(J)

